

時間整合性とコミットメント手段の利用*

盛本 晶子[†]

概要

現在志向でソフィスティケートな個人は、過剰消費を抑制するためにコミットメント手段を利用する。不動産・年金・生命保険といった流動性の低い資産はコミットメント手段として有効である。本稿はアンケートデータを用いて、現在志向でソフィスティケートな個人が属する家計ほど、不動産・年金・生命保険を保有していることを明らかにした。

*謝辞：本稿の作成に当たりまして、大阪大学社会経済研究所の池田新介教授、田中沙織准教授、中川雅央氏に幾多のご助言をいただきました。この場を借りて、心より感謝の気持ちを申し上げます。本研究は、グローバル COE プロジェクト「人間行動と社会経済のダイナミクス」によって実施された「暮らしの好みと満足度についてのアンケート」の結果を利用しています。本アンケート調査の作成に寄与された、大阪大学の筒井義郎教授、大竹文雄教授、池田新介教授に感謝いたします。

[†]大阪大学経済学研究科. E-mail:hge012ns@mail2.econ.osaka-u.ac.jp